

2018/10/12

柏の景気情報（平成30年9月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
T E L : 04-7162-3305
F A X : 04-7162-3323
U R L : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成30年9月分）

○ 調査期間：平成30年9月27日～平成30年10月10日

○ 調査対象：柏市内156事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	156	70	44.9%
建設	44	18	40.9%
製造	33	16	48.5%
卸・小売	44	21	47.7%
サービス	35	15	42.9%

○ 調査方法と調査表：下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高 (出荷高)	1 増加	2 66	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック(記述式)

DI値 = 1増加他の回答割合 - 3減少他の回答割合

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※ DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

【平成30年9月の調査結果のポイント】

《業況DIは再び悪化。先行きも懸念材料が多く悪化の見通し》

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲20.0(前月水準▲11.4)となり、マイナス幅が8.6ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲33.3(同▲37.5)である。プラスからマイナスに転じた業種は、幅の大きい順に、製造業▲12.5(同△7.1)、サービス業▲6.6(同△6.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲22.2(同▲5.8)である。

【建設業】からは「自然災害が増えている中、地盤や擁壁、ブロック塀、床下浸水等のリスクなど非常に敏感。耐震に関する相談が昨年と比較し増加」(一般土木建築工事業)、「受注が少し増加するも、積算がきびしく採算減少」(電気工事業)、「天候不良により施工できない日、予定工期のずれ、休日、時間外の作業禁止等が重なる。例年9月は売上が年平均を上回る傾向だが、今年は下回る結果。現場で作業する人の稼働日数も下回り、利益減少、採算悪化が続く」(職別工事業)、「台風の影響で雨が多かったせいもあり受注減。お正月に向けての畳工事の注文増加を祈る」(内装工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは「暑さも落ち着き客先の仕事量も戻り、台風の影響もあまりなく連休が多かった割に売上アップ」(自動車付属品製造業)、「中小企業間の認識明るい材料は特に感じられない」(金属素形材製品製造業)、「既成業態の改革が始まっている。急速な技術開発に寄る処のことであろうか」(印刷業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは「商品仕入時の送料について。今年に入り送料負担を求める会社が大半となり、仕入金額が××万円以下送料実費、××万円以上は無料とした為、小口の緊急のお客さんの対応が難しい。空き店舗が多くなった気配(松葉、南柏東口カド)」(飲食料品小売業)、「天候不順による影響が多い。今月は来春～初夏物の展示会が多いが、来る小売店が少なくなったとボヤキが聞こえてきた」(婦人・子供服小売業)、「客単価についても横ばい。景気の上昇は感じることができない」(各種商品小売業)、「猛暑の影響あり。受注に遅れ。小容量ワインの引き合いが多い。販売価格も3桁売価の要求多し」(食料・飲料卸売業)、「東京はオリンピック前の建築ブーム」(卸売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「大手企業でも絞り込まれた一部企業のみ利益を謳歌した月。スルガ銀行発、他の銀行に不動産融資規制が出るのを心配。経営姿勢に見直す時期を示した9月と実感」(投資顧問)、「天候がパッとしない日が続くも、お客様からの問い合わせはコンスタントに入っている。価額に敏感で相場より割安な物件は売れている。高齢者の資産処分等の相談が増加」(不動産管理業)、「駅前にパスポートセンターが入居し、イメージUP。地域の方々の生活に密接することが街づくり」(不動産賃貸業)、「先行き不透明な状況」(ソフトウェア業)などのコメントが寄せられた。

◎人手不足

各業種より、「社員の人員不足も一応解消し、下期に向けて売上の更なるアップを期待。顧客の人員不足は慢性的で、仕事の効率も落ちているところが多い」(自動車付属品製造業)、「従業員が高齢化していて親の通院、介護等で退職する傾向。また、突然の退職があり人手不足。次の採用の対応に苦慮」(飲食料品小売業)、「10/1より千葉県最低賃金が上がり、105万の範囲で働いている主婦の方は労働時間を短くせざるを得ず、人手不足の状況が悪化」(各種商品小売業)、「賃金のコストアップ続き大手外食産業は減益拡大。建築関係も専門職減少、受注多くも成果難か」(投資顧問)、「人手不足の状態は変わらず、ドライバー確保が急務」(一般貨物自動車運送業)、「人手不足は難」(ソフトウェア業)との声が寄せられた。

◎経費増加

各業種より、「運送代の値上がりにより、材料、部材の納入時の運賃が値上がり、材料等の値上げ幅が増加。納入時の時刻指定も出来ない為、荷揚する人の手配、人件費に支障」(職別工事業)、「仕入価格は、10月1日より一斉に価格改定、部品によっては大幅な値上がり」(自動車付属品製造業)、「鋼材材料、購入品等、仕入れ原価が軒並み上昇」(機械・同部品製造業)、「原材料費の高騰！特にイチゴの価格が値上がりし、イチゴを使った商品を一品だけにした」(菓子・パン小売業)、「猛暑や台風の影響による、仕入単価の上昇が続いている」(日本料理)、「燃料費(軽油)の高騰が業績に悪影響」(一般貨物自動車運送業)、「新規テナントオープンにより、売上はやや増(昨対)。しかし、経費はその分増えた為、採算は増えず」(不動産管理業)との声が寄せられた。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
4月	▲12.8	△5.2	△7.6	▲34.7	▲20.0
5月	▲9.8	▲15.7	△14.2	▲21.7	▲6.6
6月	▲21.1	±0.0	▲30.7	▲39.1	▲13.3
7月	▲30.9	▲21.0	▲25.0	▲54.5	▲14.2
8月	▲11.4	▲5.8	△7.1	▲37.5	△6.6
9月	▲20.0	▲22.2	▲12.5	▲33.3	▲6.6
見通し	▲15.7	▲5.5	▲6.2	▲28.5	▲20.0

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【平成30年9月の業況についての状況】

○ 9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲20.0(前月水準▲11.4)となり、マイナス幅が8.6ポイント拡大した。

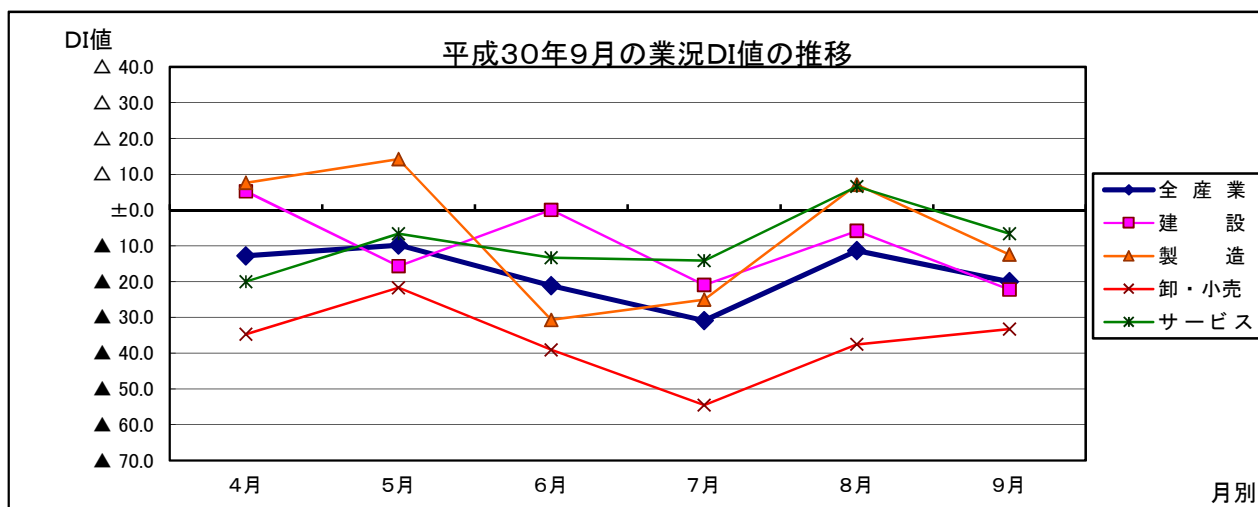
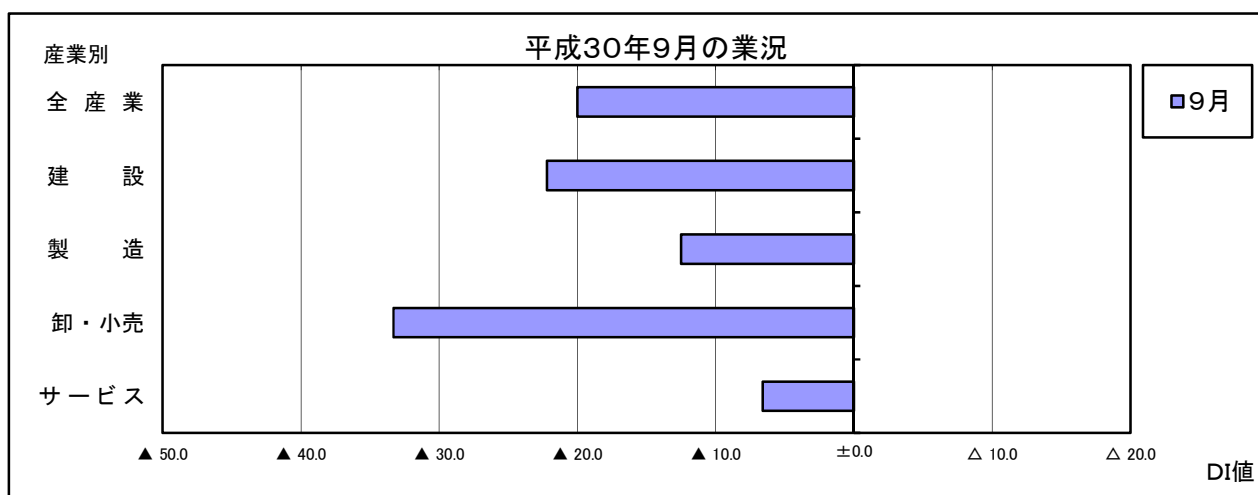
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲33.3(同▲37.5)である。プラスからマイナスに転じた業種は、幅の大きい順に、製造業▲12.5(同△7.1)、サービス業▲6.6(同△6.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲22.2(同▲5.8)である。

○ 向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲15.7(前月水準▲8.5)となり、マイナス幅が7.2ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲28.5(同▲29.1)、建設業▲5.5(同▲5.8)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、製造業▲6.2(同△14.2)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業▲20.0(同±0.0)である。

平成30年9月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10月～12月(9月～11月)
全産業	▲12.8	▲9.8	▲21.1	▲30.9	▲11.4	▲20.0	▲15.7(▲8.5)
建設	△5.2	▲15.7	±0.0	▲21.0	▲5.8	▲22.2	▲5.5(▲5.8)
製造	△7.6	△14.2	▲30.7	▲25.0	△7.1	▲12.5	▲6.2(△14.2)
卸・小売	▲34.7	▲21.7	▲39.1	▲54.5	▲37.5	▲33.3	▲28.5(▲29.1)
サービス	▲20.0	▲6.6	▲13.3	▲14.2	△6.6	▲6.6	▲20.0(±0.0)



【平成30年9月の売上についての状況】

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲10.0(前月水準▲11.4)となり、マイナス幅が1.4ポイント縮小した。

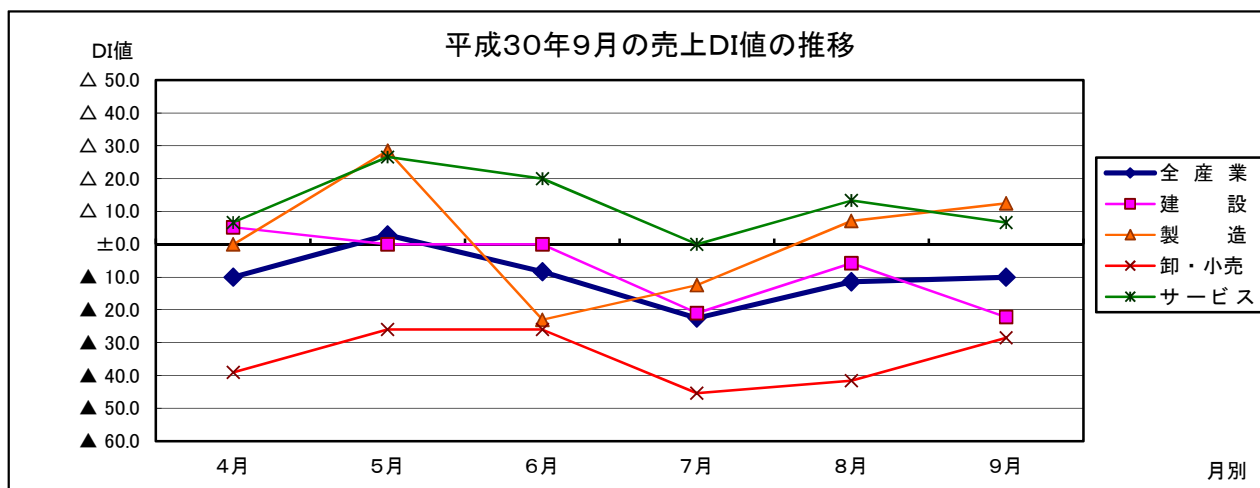
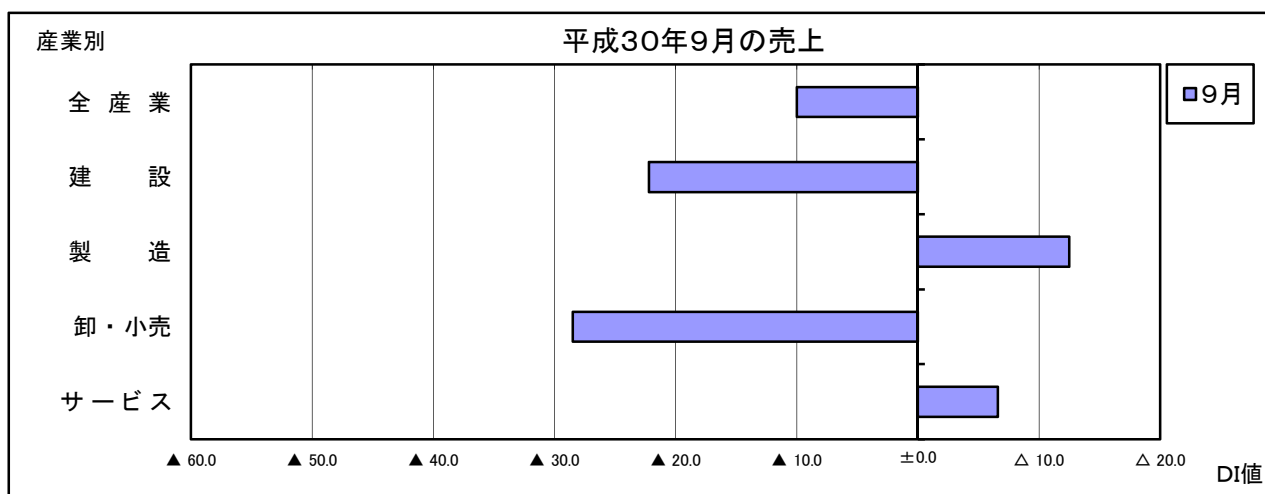
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、製造業△12.5(同△7.1)である。マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲28.5(同▲41.6)である。プラス幅が縮小した業種は、サービス業△6.6(同△13.3)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲22.2(同▲5.8)である。

○向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲4.2(前月水準±0.0)となり、マイナス幅が4.2ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、建設業△11.1(同▲5.8)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲14.2(同▲20.8)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、サービス業±0.0(同△13.3)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、製造業▲12.5(同△28.5)である。

平成30年9月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10月~12月(9月~11月)
全産業	▲10.0	△2.8	▲8.4	▲22.5	▲11.4	▲10.0	▲4.2(±0.0)
建設	△5.2	±0.0	±0.0	▲21.0	▲5.8	▲22.2	△11.1(▲5.8)
製造	±0.0	△28.5	▲23.0	▲12.5	△7.1	△12.5	▲12.5(△28.5)
卸・小売	▲39.1	▲26.0	▲26.0	▲45.4	▲41.6	▲28.5	▲14.2(▲20.8)
サービス	△6.6	△26.6	△20.0	±0.0	△13.3	△6.6	±0.0(△13.3)



【平成30年9月の採算についての状況】

○ 9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲24. 2(前月水準▲15. 7)となり、マイナス幅は8. 5ポイント拡大した。

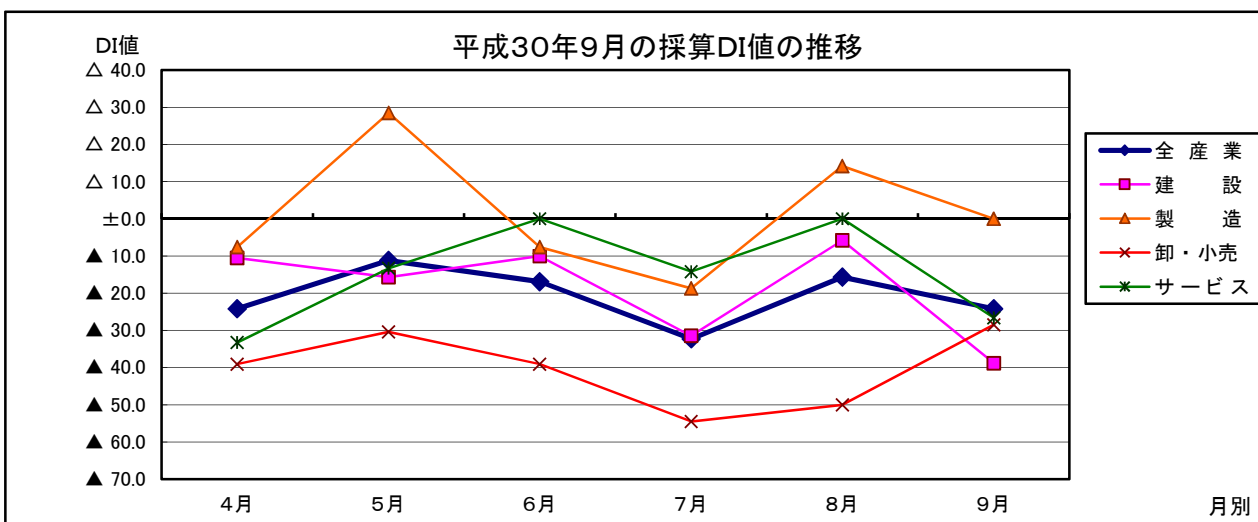
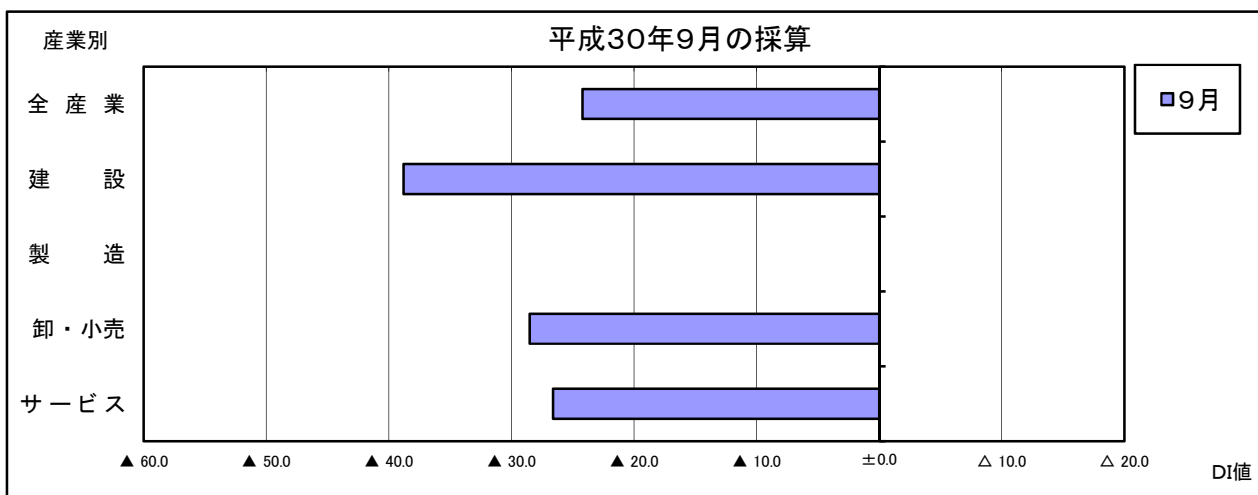
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲28. 5(同▲50. 0)である。プラス幅が縮小した業種は、製造業±0. 0(同△14. 2)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲38. 8(同▲5. 8)、サービス業▲26. 6(同±0. 0)である。

○ 向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲10. 0(前月水準▲8. 5)であり、マイナス幅が1. 5ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲19. 0(同▲29. 1)、建設業▲5. 5(同▲11. 7)である。変らない見通しの業種は、サービス業±0. 0(同±0. 0)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、製造業▲12. 5(同△21. 4)である。

平成30年9月の採算DI値(前年同月比)の推移

	平成30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10月～12月(9月～11月)
全 産 業	▲ 24.2	▲ 11.2	▲ 16.9	▲ 32.3	▲ 15.7	▲ 24.2	▲ 10.0 (▲ 8.5)
建 設	▲ 10.5	▲ 15.7	▲ 10.0	▲ 31.5	▲ 5.8	▲ 38.8	▲ 5.5 (▲ 11.7)
製 造	▲ 7.6	△ 28.5	▲ 7.6	▲ 18.7	△ 14.2	±0.0	▲ 12.5 (△ 21.4)
卸・小売	▲ 39.1	▲ 30.4	▲ 39.1	▲ 54.5	▲ 50.0	▲ 28.5	▲ 19.0 (▲ 29.1)
サ ー ビ ス	▲ 33.3	▲ 13.3	±0.0	▲ 14.2	±0.0	▲ 26.6	±0.0 (±0.0)



【平成30年9月の仕入単価についての状況】

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲42.8(前月水準▲31.4)となり、マイナス幅が11.4ポイント拡大した。

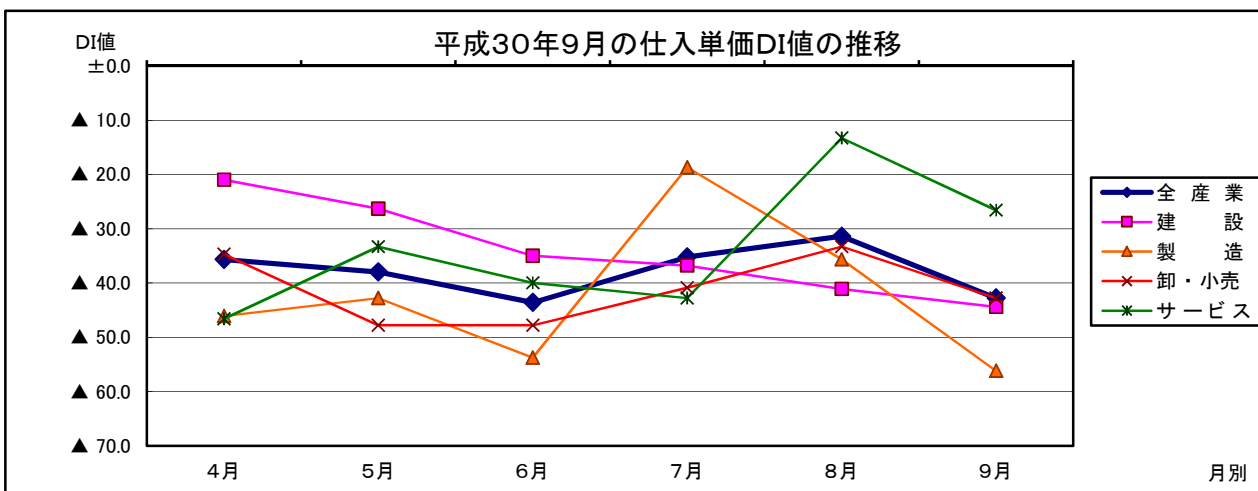
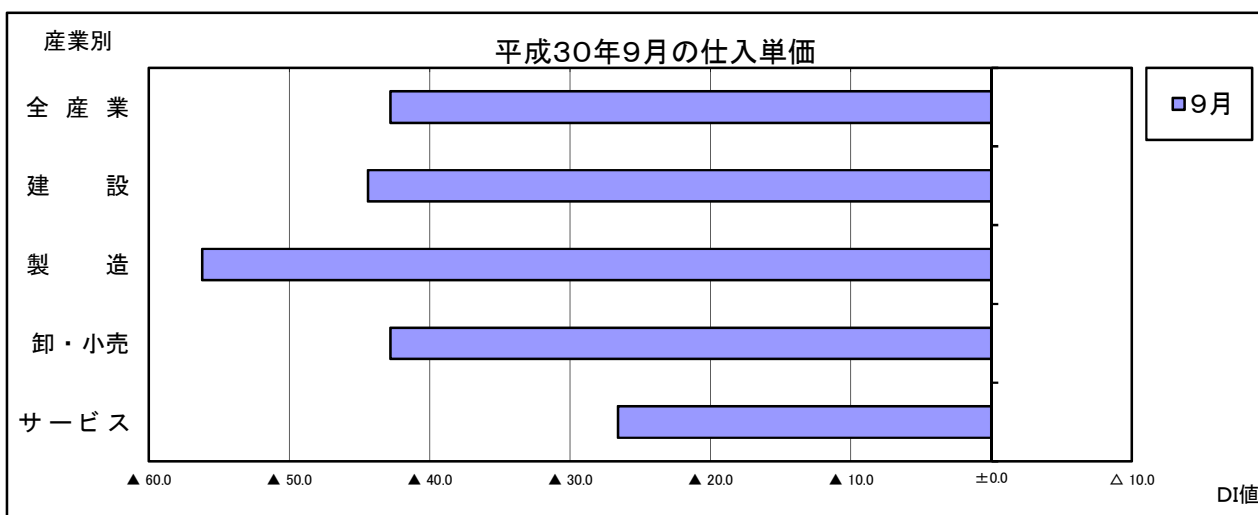
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲56.2(同▲35.7)、サービス業▲26.6(同▲13.3)、卸小売業▲42.8(同▲33.3)、建設業▲44.4(同▲41.1)である。

○向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲34.2(前月水準▲27.1)となり、マイナス幅が7.1ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、建設業▲33.3(同▲35.2)である。変らない見通しの業種は、サービス業▲13.3(同▲13.3)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲50.0(同▲28.5)、卸小売業▲38.0(同▲29.1)である。

平成30年9月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

	平成30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10月～12月(9月～11月)
全産業	▲35.7	▲38.0	▲43.6	▲35.2	▲31.4	▲42.8	▲34.2(▲27.1)
建設	▲21.0	▲26.3	▲35.0	▲36.8	▲41.1	▲44.4	▲33.3(▲35.2)
製造	▲46.1	▲42.8	▲53.8	▲18.7	▲35.7	▲56.2	▲50.0(▲28.5)
卸・小売	▲34.7	▲47.8	▲47.8	▲40.9	▲33.3	▲42.8	▲38.0(▲29.1)
サービス	▲46.6	▲33.3	▲40.0	▲42.8	▲13.3	▲26.6	▲13.3(▲13.3)



【平成30年9月の従業員についての状況】

○ 9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△22. 8(前月水準△17. 1)となり、プラス幅が5. 7ポイント拡大した。

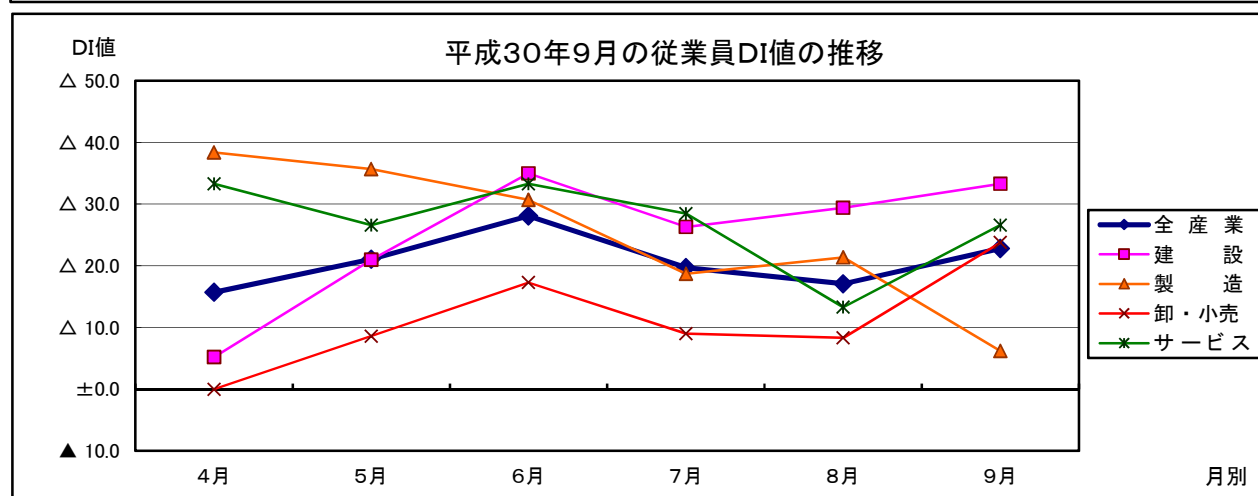
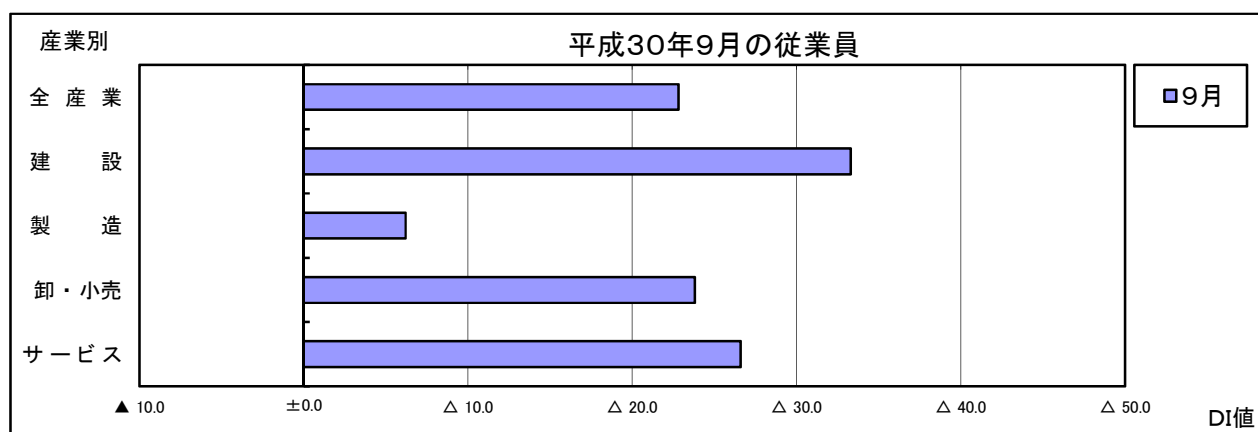
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業△23. 8(同△8. 3)、サービス業△26. 6(同△13. 3)、建設業△33. 3(同△29. 4)である。プラス幅が縮小した業種は、製造業△6. 2(同△21. 4)である。

○ 向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、△31. 4(前月水準△18. 5)となり、プラス幅が12. 9ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業△33. 3(同△13. 3)、卸小売業△28. 5(同△12. 5)、建設業△50. 0(同△35. 2)である。プラス幅が縮小した業種は、製造業△12. 5(同△14. 2)である。

平成30年9月の従業員DI値(前年同月比)の推移

	平成30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10月～12月(9月～11月)
全 産 業	△ 15.7	△ 21.1	△ 28.1	△ 19.7	△ 17.1	△ 22.8	△ 31.4 (△ 18.5)
建 設	△ 5.2	△ 21.0	△ 35.0	△ 26.3	△ 29.4	△ 33.3	△ 50.0 (△ 35.2)
製 造	△ 38.4	△ 35.7	△ 30.7	△ 18.7	△ 21.4	△ 6.2	△ 12.5 (△ 14.2)
卸・小売	±0.0	△ 8.6	△ 17.3	△ 9.0	△ 8.3	△ 23.8	△ 28.5 (△ 12.5)
サ ー ビ ス	△ 33.3	△ 26.6	△ 33.3	△ 28.5	△ 13.3	△ 26.6	△ 33.3 (△ 13.3)



【平成30年9月の資金繰りについての状況】

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲7.1(前月水準▲7.1)となり、変わらなかった。

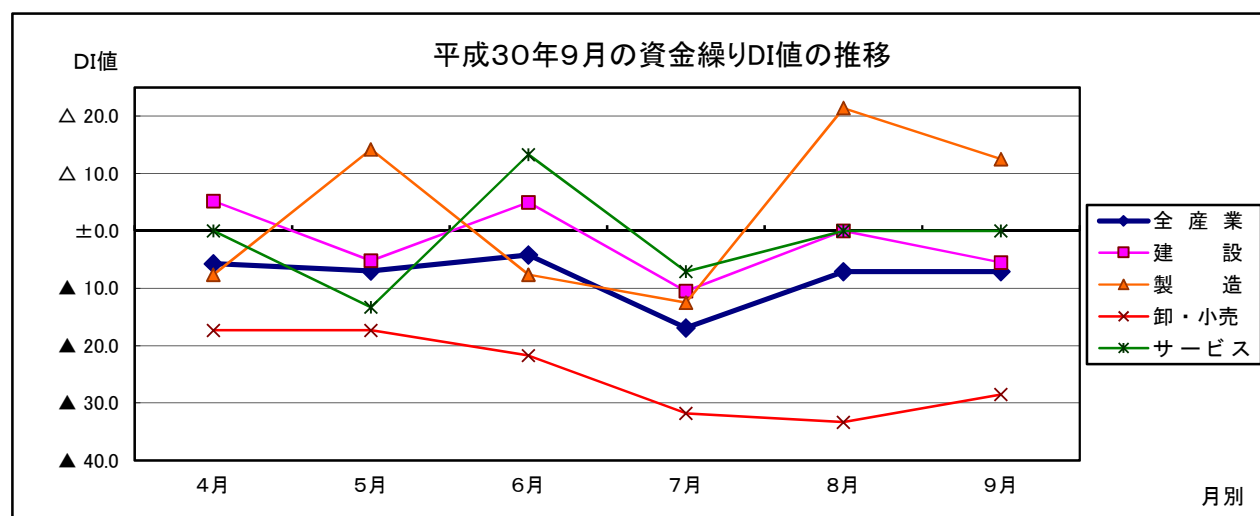
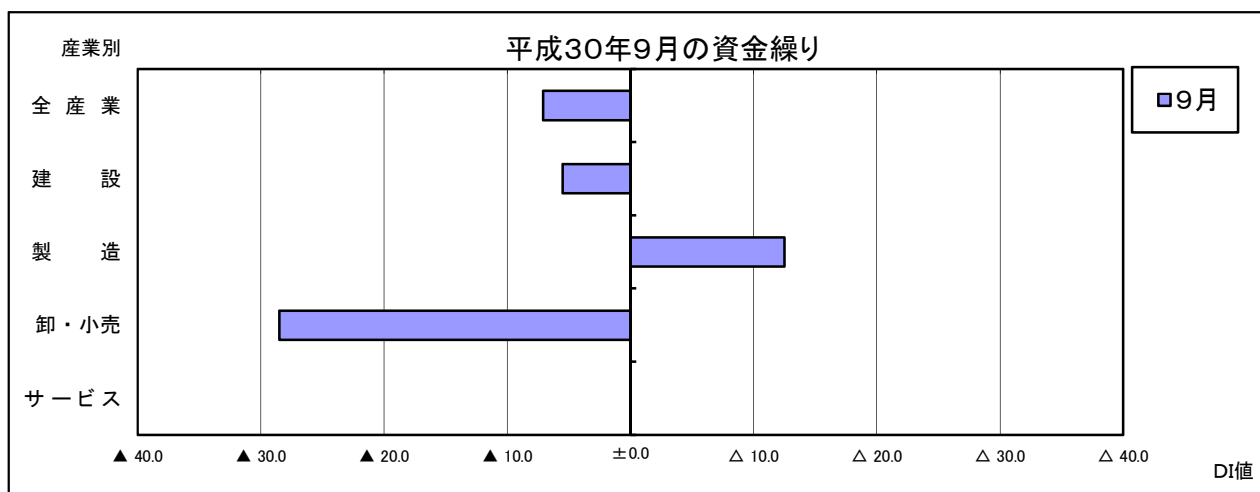
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲28.5(同▲33.3)である。変らない業種は、サービス業±0.0(同±0.0)である。プラス幅が縮小した業種は、製造業△12.5(同△21.4)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲5.5(同±0.0)である。

○向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲5.7(前月水準▲1.4)となり、マイナス幅が4.3ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲19.0(同▲20.8)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業±0.0(同△14.2)、建設業△5.5(同△11.7)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業▲6.6(同±0.0)である。

平成30年9月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

	平成30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10月~12月(9月~11月)
全産業	▲5.7	▲7.0	▲4.2	▲16.9	▲7.1	▲7.1	▲5.7(▲1.4)
建設	△5.2	▲5.2	△5.0	▲10.5	±0.0	▲5.5	△5.5(△11.7)
製造	▲7.6	△14.2	▲7.6	▲12.5	△21.4	△12.5	±0.0(△14.2)
卸・小売	▲17.3	▲17.3	▲21.7	▲31.8	▲33.3	▲28.5	▲19.0(▲20.8)
サービス	±0.0	▲13.3	△13.3	▲7.1	±0.0	±0.0	▲6.6(±0.0)



【DI値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 10.0	▲ 4.2	▲ 24.2	▲ 10.0	▲ 42.8	▲ 34.2	△ 22.8	△ 31.4
建設	▲ 22.2	△ 11.1	▲ 38.8	▲ 5.5	▲ 44.4	▲ 33.3	△ 33.3	△ 50.0
製造	△ 12.5	▲ 12.5	±0.0	▲ 12.5	▲ 56.2	▲ 50.0	△ 6.2	△ 12.5
卸・小売	▲ 28.5	▲ 14.2	▲ 28.5	▲ 19.0	▲ 42.8	▲ 38.0	△ 23.8	△ 28.5
サービス	△ 6.6	±0.0	▲ 26.6	±0.0	▲ 26.6	▲ 13.3	△ 26.6	△ 33.3

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 20.0	▲ 15.7	▲ 7.1	▲ 5.7
建設	▲ 22.2	▲ 5.5	▲ 5.5	△ 5.5
製造	▲ 12.5	▲ 6.2	△ 12.5	±0.0
卸・小売	▲ 33.3	▲ 28.5	▲ 28.5	▲ 19.0
サービス	▲ 6.6	▲ 20.0	±0.0	▲ 6.6

【平成30年9月業種別業界内トピックス】

業種別	概況	トピック	業種
建設	異常気象、地震の多発等、自然災害が増えているなか地盤や擁壁、ブロック塀、床下浸水等のリスクなど非常に敏感になってきている。そのためか、耐震に関する相談が昨年と比較すると増加している。	天候の影響 耐震相談	一般土木建築工事業
	受注が少し増加しているが、積算がきびしく採算減少している。	採算減少	電気工事業
	運送代の値上がりに依り、材料、部材の納入時の運賃が値上げとなり、材料等の値上げ幅が増えている。納入時の時刻指定も出来ない為、荷場する人の手配、人件費に支障が出ている。天候不良に依り施工できない日、予定上期のずれ、休日、時間外の作業禁止等が重なり、例年9月は売上が年平均を上回る傾向に有ったが、今年は年平均下回る結果となった。現場で作業する人の稼働日数もかなり下回った。利益減少、採算悪化が続いている。	経費増加 天候不良 採算減少	その他の職別工事業
	台風の影響で雨が多かったせいもあり受注減。10月からはお正月に向けての畳工事の注文が増えることを祈ります。	天候の影響 受注減少	内装工事業
製造業	暑さも落ち着いて客先の仕事量も戻り、台風の影響もあまりなく連休が多かった割には売り上げがアップした。社員の人不足も一応解消し、下期に向けて売上の更なるアップを期待している。顧客の人員不足は、慢性的で仕事の効率も落ちているところが多い。仕入価格は、10月1日より一斉に価格改定があり、部品によっては大幅な値上がりがある。	売上増加 人手不足 経費増加	自動車付属品製造業
	中小企業間の認識明るい材料は特に感じられない。マイナスor不透明感が強い。	先行き不透明	金属素形材製品製造業
	鋼材材料、購入品等、仕入れ原価が軒並み上昇している。人手不足により人材の募集を掛けているが集まらない状況が続いている。	経費増加 人手不足	その他の機械・同部品製造業
	業種によって異なるけれど、既成業態の改革が始まっている。急速な技術開発に寄る処のことであろうか。	業態改革	印刷業
卸小売	商品仕入時の送料について。今年に入り送料負担を求める会社が大半となる一仕入金額が00万円以下送料実費、00万円以上は無料→このため小口の緊急のお客さんの対応が難しい。例：商品1000円送料600円、定期便のように毎日配送してくれる会社の商品は対応できるが最近はこの上記の場合が多くなっている。従業員が高齢化して親の通院、介護等で退職する傾向があり、突然の退職等があり人手不足の折、次の採用の対応に苦慮する。空き店舗が多くなった気配（松葉、南柏東口カド、あるセブンイレブンはめずらしい）	送料対応 人手不足	その他の飲食品小売業
	天候不順による影響が多い。特に雨。業界的に今月は来春～初夏物の展示会が多いのだが来る小売店が少なくなったとボヤキが聞こえてきた。	天候の影響	婦人・子供服小売業
	10/1より千葉県の最低時給が上がり、105万の範囲で働いている主婦の方は労働時間を短くせざるを得ず、人手不足の状況がさらに悪化となります。客単価についても横ばい。景気の上昇は感じる事ができない状況です。	人手不足 景気停滞	その他の各種商品小売業
	原材料費の高騰!特にイチゴの価格が値上がりし、イチゴを使った商品を1品だけにしました。	経費増加	菓子・パン小売業
	猛暑の影響あり。受注が遅れている。小容量ワインの引き合いが多い。販売価格も3桁売価の要求多し。	天候の影響 経費増加	食料・飲料卸売業
	募集をかけても、販売員が集まらず。	人手不足	菓子・パン小売業
	東京はオリンピック前の建築ブーム。	建築ブーム	他に分類されない卸売業
サービス業	猛暑や台風の影響による、仕入単価の上昇が続いている。	天候の影響 経費増加	日本料理
	日経平均の22年ぶりの高値。米国株の新高値に踊らされた日本経済の9月。大手企業でも絞り込まれた一部企業のみ利益を謳歌した月。任天高など限られた銘柄のGRIPS(日銀)の集中買いと外人の裁定買いで変則株高に奇遇を感じる。賃金のコストアップ続き大手外食産業は減益拡大。建築関係も専門職減少、受注多くも成果難か。安倍総理三選プラスに動くも米中、米欧、必ず日本にシワヨセか。米国10年物国債利回りが7年5か月ぶりの高値(国債の安値)は米株の下げの予兆暗示。スルガ銀行発、他の銀行に不動産融資規制が出るのを心配。暗い話で申し訳ないですが、経営姿勢に見直す時期を示した9月と実感するレポートです。	株価上昇 採算減少 人手不足 業態改革	投資顧問
	燃料費(軽油)の高騰が業績に悪影響を及ぼしている。人手不足の状態は変わらず、ドライバー確保が急務。	経費増加 人手不足	一般貨物自動車運送業
	天候がパッとしない日が続きましたが、お客様からの問い合わせはコンスタントに入っています。価額には敏感で相場より割安な物件は売れています。高齢者の資産処分等の相談が増えています。	相続相談	不動産管理業
	駅前にパスポートセンターが入居したり、イメージUPしています。地域の方々の生活に密接することが街づくりです。	柏市イメージ向上	不動産賃貸業
	新規テナントオープンにより、売上はやや増(昨対)。しかし、経費はその分増えた為、採算は増えず。	経費増加	不動産管理業
	先行き不透明な状況です。ただ人手不足は難。	先行き不透明 人手不足	ソフトウェア業

◎人手不足

各業種より、「社員の人員不足も一応解消し、下期に向けて売上の更なるアップを期待。顧客の人員不足は慢性的で、仕事の効率も落ちているところが多い」(自動車付属品製造業)、「従業員が高齢化していて親の通院、介護等で退職する傾向。また、突然の退職があり人手不足。次の採用の対応に苦慮」(飲食料品小売業)、「10/1より千葉県の最低賃金が上がり、105万の範囲で働いている主婦の方は労働時間を短くせざるを得ず、人手不足の状況が悪化」(各種商品小売業)、「賃金のコストアップ続き大手外食産業は減益拡大。建築関係も専門職減少、受注多くも成果難か」(投資顧問)、「人手不足の状態は変わらず、ドライバー確保が急務」(一般貨物自動車運送業)、「人手不足は難」(ソフトウェア業)との声が寄せられた。

◎経費増加

各業種より、「運送代の値上がりにより、材料、部材の納入時の運賃が値上がり、材料等の値上げ幅が増加。納入時の時刻指定も出来ない為、荷揚する人の手配、人件費に支障」(職別工事業)、「仕入価格は、10月1日より一斉に価格改定、部品によっては大幅な値上がり」(自動車付属品製造業)、「鋼材材料、購入品等、仕入れ原価が軒並み上昇」(機械・同部品製造業)、「原材料費の高騰！特にイチゴの価格が値上がりし、イチゴを使った商品を一品だけにした」(菓子・パン小売業)、「猛暑や台風の影響による、仕入単価の上昇が続いている」(日本料理)、「燃料費(軽油)の高騰が業績に悪影響」(一般貨物自動車運送業)、「新規テナントオープンにより、売上はやや増(昨対)。しかし、経費はその分増えた為、採算は増えず」(不動産管理業)との声が寄せられた。

平成30年9月CCI - LOBOとの比較

- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲20.0に対し、「CCI-LOBO」が▲16.0で柏の方がマイナス幅が4.0ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、サービス業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、製造業、卸小売業であり、建設業は10ポイント以上悪い。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲10.0に対し、「CCI-LOBO」が▲12.2で柏の方がマイナス幅が2.2ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業、卸小売業、サービス業であり、製造業、サービス業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業であり、10ポイント以上悪い。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲24.2に対し、「CCI-LOBO」が▲17.6で柏の方がマイナス幅が6.6ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業であり、10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、卸小売業、サービス業であり、建設業は10ポイント以上悪い。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲42.8に対し、「CCI-LOBO」が▲41.9で柏の方がマイナス幅が0.9ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、サービス業であり、10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、製造業、卸小売業である。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が△22.8に対し、「CCI-LOBO」が△23.5で柏の方がプラス幅が0.7ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、卸小売業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業、サービス業であり、製造業は10ポイント以上悪い。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲7.1に対し、「CCI-LOBO」が▲10.4で柏の方がマイナス幅が3.3ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業・サービス業であり、製造業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、卸小売業である。

平成30年9月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI-LOBOとの比較

景気天気図					
	特に好調 DI $\geq$ 50	好調 50>DI $\geq$ 25	まあまあ 25>DI $\geq$ 0	不振 0>DI $\geq$ ▲25	極めて不振 ▲25>DI

業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 20.0	 ▲ 22.2	 ▲ 12.5	 ▲ 33.3	 ▲ 6.6
CCI—LOBO	 ▲ 16.0	 ▲ 7.6	 ▲ 9.6	 ▲ 31.4	 ▲ 13.9

売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 10.0	 ▲ 22.2	 12.5	 ▲ 28.5	 6.6
CCI—LOBO	 ▲ 12.2	 ▲ 6.9	 ▲ 2.1	 ▲ 30.4	 ▲ 11.0

採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 24.2	 ▲ 38.8	 ±0.0	 ▲ 28.5	 ▲ 26.6
CCI—LOBO	 ▲ 17.6	 ▲ 13.2	 ▲ 13.0	 ▲ 27.9	 ▲ 18.3

仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 42.8	 ▲ 44.4	 ▲ 56.2	 ▲ 42.8	 ▲ 26.6
CCI—LOBO	 ▲ 41.9	 ▲ 39.5	 ▲ 49.9	 ▲ 34.7	 ▲ 40.1

従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 22.8	 33.3	 6.2	 23.8	 26.6
CCI—LOBO	 23.5	 29.6	 19.5	 21.1	 27.7

資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 7.1	 ▲ 5.5	 12.5	 ▲ 28.5	 ±0.0
CCI—LOBO	 ▲ 10.4	 ▲ 4.3	 ▲ 9.8	 ▲ 19.6	 ▲ 7.9

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

CC I - LOBO

商工会議所早期景気観測(9月速報)

調査期間：平成30年9月11日～19日
調査対象：全国の423商工会議所が3742企業にヒアリング調査を実施

全国の業況

業況DIは、足踏み。先行きは台風や北海道地震の影響もあり、横ばい圏内

9月の全産業合計の業況DIは、▲16.0と、前月から▲1.2ポイントの悪化。台風21号や北海道胆振東部地震、全国的な異常気象の影響が大きく、宿泊業や飲食業を中心とするサービス業や小売業、卸売業を中心に業況が悪化した。建設業や産業用機械、自動車、電子部品関連は堅調なもの、燃料費・原材料費の上昇や深刻な人手不足、根強い消費者の節約志向を指摘する声は依然として多く、業況改善に向けた動きには足踏み状況がみられる。

先行きについては、先行き見通しDIが▲14.9（今月比+1.1ポイント）と改善を見込むものの、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。消費の持ち直しや、生産・設備投資の堅調な推移への期待感がうかがえる。他方、人手不足の影響の深刻化や、燃料

費・原材料費の上昇、コスト増加分の価格転嫁遅れ、米国の保護主義的な関税措置に端を発する貿易摩擦の影響に加え、自然災害に伴うインバウンドを含む観光需要への影響の長期化を懸念する声も多く、中小企業の業況感

はほぼ横ばいで推移する見通し。
○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

産業別にみると、今月の業況DIは前月に比べ、製造業で改善、建設業でほぼ横ばい、その他の3業種で悪化した。各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「ビル建設などの民間工事が多く、売上は改善。ただし、技術者を中心とした人手不足は深刻であるため、着工時期をずらすなど、受注を調整し、対応せざるを得ない」（一般工事業、「公共工事や住宅着工戸数の減少から、受注量の確保に

難航しているほか、人件費や外注費、燃料費などのコスト増も深刻で、売上・採算ともに悪化した」（内装工事業）

【製造業】「自動車・建設業界を中心とした旺盛な設備投資需要を背景に、売上は好調。収益増を従業員に還元するため、今夏の賞与を増額した」（産業用機械製造業、「鉄鋼を始めたとする原材料や、燃料費、運送費等の上昇により、収益が圧迫されていることに加え、相次ぐ災害の影響から、部品供給に遅滞が生じている」（金属製品製造業）

【卸売業】「今夏の猛暑や北日本での低温、西日本豪雨、台風等、全国的な異常気象の影響から、農産物の生育が鈍り、仕入価格が高騰している。北海道地震等による物流の混乱も重なり、当面は高値が続くそう」（農産物卸売業、「国内外問わず引き合いが多く、売上は改善。人員増を目的に、ベロースアップを実施し、さらなる増収を図る」（金属加工機械卸売業）

【小売業】「台風21号と、それに伴う関西国際空港の一時閉鎖・航空会社による減便の影響から、インバウンドの来店客数が減少した。風評被害の拡大など、影響の長期化を懸念している」（医薬品等小売業、「駅前の再開発やイベントの開催などにより、客足は増加。さらなる集客を目的に、店舗のリニューアルを検討している」（各種商品小売業）

サービス業

【サービス業】「北海道地震の影響から、国内観光客が減少したほか、これまで売上を牽引してきたインバウンドからも、予約のキャンセルが相次ぎ、売上は大幅に落ち込んだ」（宿泊業、「深刻な人手不足を背景に、生産性向上を目的とした業務システム・アプリケーション開発依頼が増加している」（ソフトウェア業）

全国・産業別業況DIの推移

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
4月	▲11.5	▲13.1	0.5	▲18.3	▲25.7	▲7.6
5月	▲13.6	▲14.8	▲5.8	▲19.4	▲26.5	▲7.6
6月	▲15.4	▲10.1	▲6.5	▲17.1	▲32.3	▲12.8
7月	▲16.7	▲11.5	▲11.5	▲18.8	▲29.0	▲13.6
8月	▲14.8	▲8.1	▲11.4	▲16.1	▲27.7	▲11.7
9月	▲16.0	▲7.6	▲9.6	▲17.8	▲31.4	▲13.9
見通し	▲14.9	▲10.5	▲7.4	▲12.2	▲27.9	▲15.4

柏の景気情報

(9月の調査結果のポイント)

調査期間：平成30年9月27日～10月10日

調査対象：柏市内156事業所及び組合に
ヒアリング、回答数70件

柏の景気情報・産業別業況D I

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
4月	▲12.8	△ 5.2	△ 7.6	▲34.7	▲20.0
5月	▲ 9.8	▲15.7	△14.2	▲21.7	▲ 6.6
6月	▲21.1	± 0.0	▲30.7	▲39.1	▲13.3
7月	▲30.9	▲21.0	▲25.0	▲54.5	▲14.2
8月	▲11.4	▲ 5.8	△ 7.1	▲37.5	△ 6.6
9月	▲20.0	▲22.2	▲12.5	▲33.3	▲ 6.6
見通し	▲15.7	▲ 5.5	▲ 6.2	▲28.5	▲20.0

「見通し」は今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しD I

「柏市」の業況

業況D Iは再び悪化。先行きも懸念材料が多く悪化の見通し

9月の全産業合計のD I値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲20.0(前月水準▲11.4)となり、マイナス幅が8.6ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲33.3(同▲37.5)である。プラスからマイナスに転じた業種は、幅の大きい順に、製造業▲12.5(同▲7.1)、サービス業▲6.6(同▲6.6)。

6)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲22.2(同▲5.8)である。

【建設業】からは、「自然災害が増えている中、地盤や擁壁、ブロック塀、床下浸水等のリスクなど非常に敏感。耐震に関する相談が昨年と比較し増加」「一般土木建築工事業」

「受注が少し増加するも、積算がきびしく採算減少」「電気工事業」、「天候不良により施工できない日、予定工期のずれ、休日、時間外の作業禁止等が重なる。例年9月は売上が年平均を上回る傾向だが、今年は下回る結果。現場で作業する人の稼働日数も下回り、利益減少、採算悪化が続く」

【職別工事業】、「台風の影響で雨が多かったせいもあり受注減。お正月に向けての畳工事の注文増加を祈る」(内装工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「暑さも落ち着き客先の仕事量も戻り、台風の影響もあまりなく連休が多かった割に売上アップ」(自動車付属品製造業)、「中小企業間の認識異なる材料は特に感じられない」(金属材料製品製造業)、「既成業態の改革が始まっている。急速な技術開発に寄る処のことであろうか」(印刷業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「商品仕入時の送料について。今年に入り送料負担を求める会社が大半となり、仕入金額が××万円以下送料実費、××万円以上は無料とした為、小口の緊急のお客さんの対応が難しい。空き店舗が多くなった気配(松葉、南柏東口カド)」

【飲食料品小売業】、「天候不順による影響が多い。今月は来春〜初夏物の展示会が多いが、来る小売店が少なくなつたとボヤキが聞こえてきた」(婦人・子供服小売業)、「客単価についても横ばい。景気の上昇は感じる事ができない」(各種商品小売業)、「猛暑の影響あり。受注に遅れ。小容量ワインの引き合いが多い。販売価格も3桁売価の要求多し」(食料・飲料卸売業)、「東京はオリンピック前の建築ブーム」(卸売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「大手企業でも絞り込まれた一部企業のみ利益を謳歌した月。スルガ銀行発、他の銀行に不動産融資規制が出るのを心配。経営姿勢に見直す時期を示した9月と実感」(投資顧問)、「天候がぱつとしない日が続くも、お客様からの問い合わせはコンスタントに入っている。価額に敏感で相場より割安な物件は売れている。高齢者の資産処分等の相談が増加」(不動産管理業)、「駅

前にパスポートセンターが入居し、イメージUP。地域の方々の生活に密接することが街づくり」(不動産賃貸業)、「先行き不透明な状況」(ソフトウェア業)などのコメントが寄せられた。

【九月の景気キーワード】

◎人手不足

各業種より、「社員の人員不足も一応解消し、下期に向けて売上への更なるアップを期待。顧客の人員不足は慢性的で、仕事の効率も落ちているところが多い」(自動車付属品製造業)、「従業員が高齢化していて親の通院、介護等で退職する傾向。また、突然の退職があり人手不足。次の採用の対応に苦慮」(飲食料品小売業)、「10/1より千葉県の最低賃金上がり、105万の範囲で働いている主婦の方は労働時間を短くせざるを得ず、人手不足の状況が悪化」(各種商品小売業)、「賃金のコストアップ続き大手外食産業は減益拡大。建築関係も専門職減少、受注多くも成果難か」(投資顧問)、「人手不足の状態は変わらず、ドライバー確保が急務」(一般貨物自動車運送業)、「人手不足は難」(ソフトウェア業)との声が寄せられた。

◎経費増加

各業種より、「運送代の値上がりにより、材料、部材の納入時の運賃が値上がり、材料等の値上げ幅が増加。納入時の時刻指定も出来ない為、荷揚する人の手配、人件費に支障」(職別工事業)、「仕入価格は、10月1日より一斉に価格改定、部品によっては大幅な値上がり」(自動車付属品製造業)、「鋼材材料、購入品等、仕入れ原価が軒並み上昇」(機械・同部品製造業)、「原材料費の高騰！特にイチゴの価格が値上がりし、イチゴを使った商品を一品だけにした」(菓子・パン小売業)、「猛暑や台風の影響による、仕入単価の上昇が続いている」(日本料理)、「燃料費(軽油)の高騰が業績に悪影響」(一般貨物自動車運送業)、「新規テナントオープンにより、売上はやや増(昨対)。しかし、経費はその分増えた為、採算は増えず」(不動産管理業)との声が寄せられた。

全国の商工会議所早期景気観測調査(CCI-1080)との比較

全産業合計では、「柏の景気」が▲20.0に対し、「CCI-1080」が▲16.0で柏の方がマイナス幅が4.0ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、サービス業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、製造業、卸小売業であり、建設業は10ポイント以上悪い。

入時の運賃が値上がり、材料等の値上げ幅が増加。納入時の時刻指定も出来ない為、荷揚する人の手配、人件費に支障」(職別工事業)、「仕入価格は、10月1日より一斉に価格改定、部品によっては大幅な値上がり」(自動車付属品製造業)、「鋼材材料、購入品等、仕入れ原価が軒並み上昇」(機械・同部品製造業)、「原材料費の高騰！特にイチゴの価格が値上がりし、イチゴを使った商品を一品だけにした」(菓子・パン小売業)、「猛暑や台風の影響による、仕入単価の上昇が続いている」(日本料理)、「燃料費(軽油)の高騰が業績に悪影響」(一般貨物自動車運送業)、「新規テナントオープンにより、売上はやや増(昨対)。しかし、経費はその分増えた為、採算は増えず」(不動産管理業)との声が寄せられた。

入時の運賃が値上がり、材料等の値上げ幅が増加。納入時の時刻指定も出来ない為、荷揚する人の手配、人件費に支障」(職別工事業)、「仕入価格は、10月1日より一斉に価格改定、部品によっては大幅な値上がり」(自動車付属品製造業)、「鋼材材料、購入品等、仕入れ原価が軒並み上昇」(機械・同部品製造業)、「原材料費の高騰！特にイチゴの価格が値上がりし、イチゴを使った商品を一品だけにした」(菓子・パン小売業)、「猛暑や台風の影響による、仕入単価の上昇が続いている」(日本料理)、「燃料費(軽油)の高騰が業績に悪影響」(一般貨物自動車運送業)、「新規テナントオープンにより、売上はやや増(昨対)。しかし、経費はその分増えた為、採算は増えず」(不動産管理業)との声が寄せられた。

入時の運賃が値上がり、材料等の値上げ幅が増加。納入時の時刻指定も出来ない為、荷揚する人の手配、人件費に支障」(職別工事業)、「仕入価格は、10月1日より一斉に価格改定、部品によっては大幅な値上がり」(自動車付属品製造業)、「鋼材材料、購入品等、仕入れ原価が軒並み上昇」(機械・同部品製造業)、「原材料費の高騰！特にイチゴの価格が値上がりし、イチゴを使った商品を一品だけにした」(菓子・パン小売業)、「猛暑や台風の影響による、仕入単価の上昇が続いている」(日本料理)、「燃料費(軽油)の高騰が業績に悪影響」(一般貨物自動車運送業)、「新規テナントオープンにより、売上はやや増(昨対)。しかし、経費はその分増えた為、採算は増えず」(不動産管理業)との声が寄せられた。

入時の運賃が値上がり、材料等の値上げ幅が増加。納入時の時刻指定も出来ない為、荷揚する人の手配、人件費に支障」(職別工事業)、「仕入価格は、10月1日より一斉に価格改定、部品によっては大幅な値上がり」(自動車付属品製造業)、「鋼材材料、購入品等、仕入れ原価が軒並み上昇」(機械・同部品製造業)、「原材料費の高騰！特にイチゴの価格が値上がりし、イチゴを使った商品を一品だけにした」(菓子・パン小売業)、「猛暑や台風の影響による、仕入単価の上昇が続いている」(日本料理)、「燃料費(軽油)の高騰が業績に悪影響」(一般貨物自動車運送業)、「新規テナントオープンにより、売上はやや増(昨対)。しかし、経費はその分増えた為、採算は増えず」(不動産管理業)との声が寄せられた。